

「防災重点ため池」ハザードマップの公開について

仙台市経済局

1 経緯・概要

東日本大震災において、農業用ため池の決壊による被害が発生したことを踏まえ、国通知に基づき、防災重点ため池のハザードマップ作成を全国的に進めることとされた。

本市の防災重点ため池（5か所・4地区、表-1）については、宮城県が平成29～30年度にかけてハザードマップ（※）を作成したところであり、今後、当該ため池下流部の住民に対する説明会や本市ホームページへの公開等により、災害発生時の適切な避難行動を促し、防災・減災に努めていく。

（※）「ため池が、満水時に決壊した」という状況を想定し、①決壊から5～60分後までの時間毎の浸水範囲、②浸水深、③避難場所等を地図上に表したもの

表-1 仙台市の防災重点ため池

	ため池名称	所在地	堤高 (m)	貯水量 (m ³)
1	愛子ため池(月山池)	青葉区上愛子字芦見	15.8	1,200,000
2	斉勝沼ため池(サイカチ沼)		4.8	423,000
3	銅谷ため池(銅谷堤)	泉区根白石字青笹山	10.4	112,500
4	新釜の沢ため池	泉区館7丁目	10.5	105,000
5	住吉台第5号ため池	泉区住吉台西1丁目	11.9	78,000

2 ハザードマップ公表等の日程

(1) 平成31年2月～3月：住民説明会実施（概ね町内会毎に実施）

(2) 平成31年2月：市ホームページ「せんだいくらしのマップ」

「農林水産業の災害関連情報」に掲載

3 防災重点ため池の安全対策等

(1) 大雨対応

5箇所とも、200年確率降雨（概ね200年に一度発生する程度の大雨）に対応できる「越流堰」「洪水吐」を備えている。

なお、平成31年度から、水位を監視するためのカメラや水位計等を順次設置する。

(2) 地震対応

県が平成29～30年度に実施した耐震診断により、愛子ため池及び住吉台第5号ため池が、震度5強程度の揺れの際に「堤体の表面滑り」が発生する恐れがあると診断されたことから、安全性向上のため平成31年度から順次耐震補強対策を実施する。



写真 愛子ため池 (月山池) : 平成 30 年 10 月撮影

—以上—